My Docs



Project documentation with Markdown.



はじめに

注意書き等~~~~

- 2/14 - CopyRight



目次

1. Welcome to MkDocs	4
1.1 Commands	4
1.2 Project layout	4
2. mkdocs-with-pdf	5
2.1 環境構築	5
2.2 表紙をつける	5
2.3 表紙をカスタマイズする	6
2.4 表紙の次に注意書き等のページを差し込む	7
2.5 PDF出力用のスタイルシートを指定する	7
2.6 見出しのボーダーカラーを変更する	8
2.7 目次へ出力する見出しレベルを指定する	8
2.8 PDF出力用のHTMLを確認する	9
2.9 2カラム構成で出力する	10
2.9.1 Material for MkDocsのサポートブラウザーを確認する	10
2.10 特定のページをPDF出力対象から除外する	11
2.11 各ページにロゴを表示する	11
2.12 裏表紙をつける・カスタマイズする	11
2.13 イベントフック	12



1. Welcome to MkDocs

For full documentation visit mkdocs.org.

1.1 Commands

- mkdocs new [dir-name] Create a new project.
- mkdocs serve Start the live-reloading docs server.
- mkdocs build Build the documentation site.
- mkdocs -h Print help message and exit.

1.2 Project layout

```
mkdocs.yml # The configuration file.

docs/
   index.md # The documentation homepage.
   ... # Other markdown pages, images and other files.
```

- 4/14 - CopyRight



2. mkdocs-with-pdf

mkdocs-with-pdfを使用して、ドキュメントをPDFとして出力することができます。

2.1 環境構築

WeasyPrintに依存してるので、事前に環境構築が必要。

https://doc.courtbouillon.org/weasyprint/latest/first_steps.html#linux

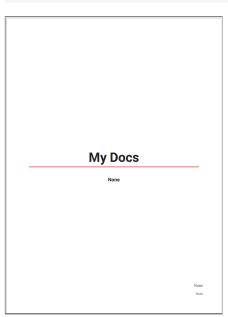
インストールする。

```
pip install mkdocs-with-pdf
```

プラグインを有効にする。

2.2 表紙をつける

```
plugins:
    - with-pdf:
        cover: true
        cover_title: My Docs
```



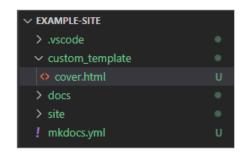
- 5/14 - CopyRight



2.3 表紙をカスタマイズする

表紙用のHTMLを差し込むことができます。
custom_template_pathで指定したディレクトリー内に、cover.html を配置します。

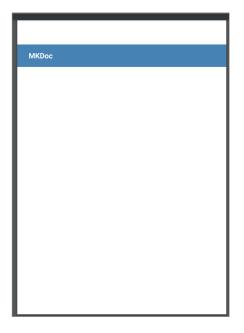
```
plugins:
    - with-pdf:
        cover: true
        custom_template_path: custom_template
```





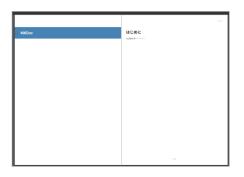
デフォルトで余白が設定されているので、帯状に塗りつぶしたい場合、 margin をマイナスに設定して描画領域 を調整します。





2.4 表紙の次に注意書き等のページを差し込む

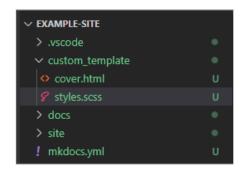
cover.html 内で改ページを指定することで、2ページ以降にも任意のページを差し込むことができます。



2.5 PDF出力用のスタイルシートを指定する

custom template pathで指定したディレクトリー内に、styles.scss を配置します。





2.6 見出しのボーダーカラーを変更する

テーマを指定するようなオプションはないので、styles.scss内でスタイルを指定します。

```
$mainColor: #177e7e;
$subColor: rgba($mainColor, 0.85);

article {
    h1 {
        border-bottom: 2px solid $mainColor !important;
    }
    h2 {
        border-bottom: 1px solid $subColor !important;
    }
    h3 {
        border-bottom: 0.5px solid #eee;
    }
    h1>.pdf-order,
    h2>.pdf-order {
        padding-left: 6px;
    }
}
.pdf-order {
    color: $mainColor !important;
}
```



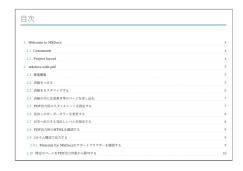
2.7 目次へ出力する見出しレベルを指定する

目次へ出力する見出しのレベルを指定することができます。

```
plugins:
    - with-pdf:
    toc_level: 3
```



toc_level: 3 にすることで、見出しレベルが 3 (###) の項まで目次へ出力されます。



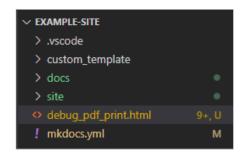
2.8 PDF出力用のHTMLを確認する

スタイルを拡張する際、要素の構造や、属性等確認したい場合があります。 オプションを debug_html: true とすることで、PDF出力用のHTMLがログ出力されるようになります。

```
plugins:
- with-pdf:
debug_html: true
```

pretty-print等のオプションはないので、htmlとして書き出し、フォーマットをかけて確認するとわかりやすいです。

mkdocs build > debug_pdf_print.html



見出しへ付与されたアンカーを確認したい場合は、 show_anchors: true とすることで、ログへ一覧が出力されます。

plugins:
 - with-pdf:
 show_anchors: true

- 9/14 - CopyRight



2.9 2カラム構成で出力する

2カラム構成で出力する見出しレベルを指定することで、そのレベル以下は2カラムで出力されるようになります。

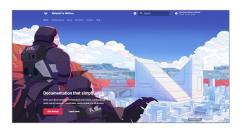
plugins:
 - with-pdf:
 two_columns_level: 3

2.9.1 Material for MkDocsのサポートブラウザーを確認する

この項は、見出しレベルが3 (###) なので、2カラム構成で出力されます。

Material for MkDocsのサポートブラウザーを確認する この項は、見出しレベルが3なので、2カラム構成で出力されます。

Material for MkDocsの製品サイトへアクセスします。



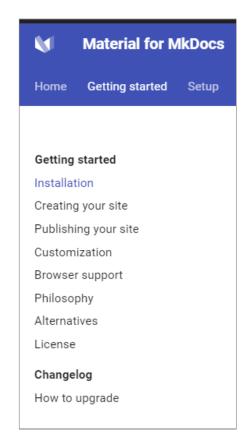


Getting startedをクリックします。





左側のメニューからBrowser supportへ移動します。





対応ブラウザーと各バージョンを確認します。



こんな感じのちょっとしたフローは2カラム構成のほうが無駄なスペースを消費せず見やすい。

-10/14 - CopyRight



2.10 特定のページをPDF出力対象から除外する

オプションで、除外したいファイル/ディレクトリを指定します。

MkDocsのオプションで use_directory_urls: false としている場合

```
plugins:
    - with-pdf:
    exclude_pages:
        - 'mkdocks-with-pdf-output.html'
```

MkDocsのオプションで use_directory_urls: true としている場合

```
plugins:
    - with-pdf:
    exclude_pages:
        - 'mkdocks-with-pdf-output/'
```

2.11 各ページにロゴを表示する

特にオプションはないので、スタイルで指定します。 CSS Paged Media Module Level 3 styles.scss

```
@page:first {
    @top-left {
        content: '';
    }
}

@page {
    @top-left {
        opacity: .6;
        transform: translateX(-150px) scale(0.3);
        content: url(data:image/png;base64, · · · · ·);
    }
}
```

表紙をのぞいた各ページの左上にロゴが表示されます。



2.12 裏表紙をつける・カスタマイズする

裏表紙用のHTMLを差し込むことができます。

オプションで back_cover: true を設定し、custom_template_pathで指定したディレクトリー内に、back_cover.html を配置します。

```
plugins:
    - with-pdf:
```



```
back_cover: true
custom_template_path: custom_template
```

back cover.html

```
<!-- 裏表紙 -->
<div class="back-cover-page">
</div>
```

不要な情報があればスタイルで無効化します。

styles.scss

```
.back-cover-page {
    page: back-page;
    page-break-before: always;
}

@page back-page {
    @top-right {
        content: none;
    }
    @top-left {
        content: none;
    }
    @bottom-center {
        content: none;
    }
    @bottom-right {
        content: none;
    }
}
```



2.13 イベントフック

mkdocs.ymlと同一ディレクトリーに、 pdf_event_hook.py を配置して、PDF出力時に以下処理をフックして処理を拡張することができます。

```
def inject_link(html: str, href: str, page: Page, logger: logging) -> str:
    def pre_js_render(soup: BeautifulSoup, logger: logging) -> BeautifulSoup:
    def pre_pdf_render(soup: BeautifulSoup, logger: logging) -> BeautifulSoup:
```



裏表紙下部へ、出力時の情報を出力してみます。

```
import logging
import sys
import datetime
from bs4 import BeautifulSoup
from mkdocs.structure.pages import Page
def pre_pdf_render(soup: BeautifulSoup, logger: logging) -> BeautifulSoup:
    logger.info('(hook on pre_pdf_render)')
    for el in soup.select('.back-cover-page'):
        logger.info(el)
        el_main = soup.new_tag('main')
        el_main['style'] = 'flex: 1;'
        el.append(el_main)
        el_output_info = soup.new_tag('footer')
        el_output_info['style'] = 'color: gray; font-size: 0.9em;'
        # Pythonバージョン
        el_python_version = soup.new_tag('div')
el_python_version.string = 'Python version: ' + sys.version
        el_output_info.append(el_python_version)
        # 出力日時
        el_current_dt = el_python_version = soup.new_tag('div')
el_current_dt.string = '出力日時: ' + datetime.datetime.now().strftime('%Y年%m月%d日 %H:%M:%S')
        el_output_info.append(el_current_dt)
        el.append(el_output_info)
        break
    return soup
```

styles.scss

```
.back-cover-page {
   page: back-page;
   page-break-before: always;
   height: 100%;
   display: flex;
   flex-flow: column;
}
```

Python version: 3.18.4 (main, Jun 29 2022, 12.14.53) [GCC 11.2.0] nt/1047-202200971111 22.0923

Python version: 3.10.4 (main, Jun 29 2022, 12:14:53) [GCC 11.2.0]

出力日時: 2022年09月11日 23:18:47